

## Gymnocalycium papschii H. Till pro parte

Wolfgang Papsch

Ziehrenweg 6, 8401 Kalsdorf (Austria)

e-mail: wolfgang.papsch@schuetziana.org



※これは、Mario Wick 氏らが主宰する、Gymnocalycium のインターネットジャーナル(<http://www.schuetziana.org/>)に載られた記事です。著者の好意により、翻訳の掲載許可を頂いています。無断転載を禁止します。(翻訳：島田 孝)

**要約**：Hans Till 氏は、GYMNOCALYCIUM (2001) で、Gymnocalycium papschii H. Till で最初の学術記載を発表しました。彼の記述で、彼は、San Javier (G. papschii WP83/111) と Loma Bola (G. spec. HA521) から植物の特徴を混ぜました。しかし、これらの 2 つの分類群は、体型、刺と花により、明らかに識別することができます。そこで、G. papschii H. Till pro parte とラベルをつけることが、必要です。(訳者注：pro parte(p.p.)とは、……の一部(in part)と言う意味で、G. spec. HA521 は、H. Till の記載した G. papschii の一部であると言うことを示す専門用語。)

GYMNOCALYCIUM 14(3) で、Hans Till 氏は、Cerro Champaqui (Sierra de Comechingones, Prov. Cordoba)からの、新しく発見された植物を Gymnocalycium papschii H. Till として記述しました。(2001 年)。正基準標本(Holotype)はフィールド番号 WP89-83/111 で、最初のコレクションからの植物で、CORD に寄託されました。序文(protologue)では無く、prologue の間違い。H. Till 氏の論文の中で、この植物は、図 8 に示されます。さらにまた、同じフィールド番号による副基準標本(Isotype)は、WU に寄託されました。

新種は、開放的な灌木地域で、海拔およそ 1200m の La Constancia 周辺、San Javier の Cerro Champaqui の西の傾斜で発見されました。植物は、いつも、きめが細かい砂地で、茂みの保護により成長します。生息地への 3 回の訪問で、

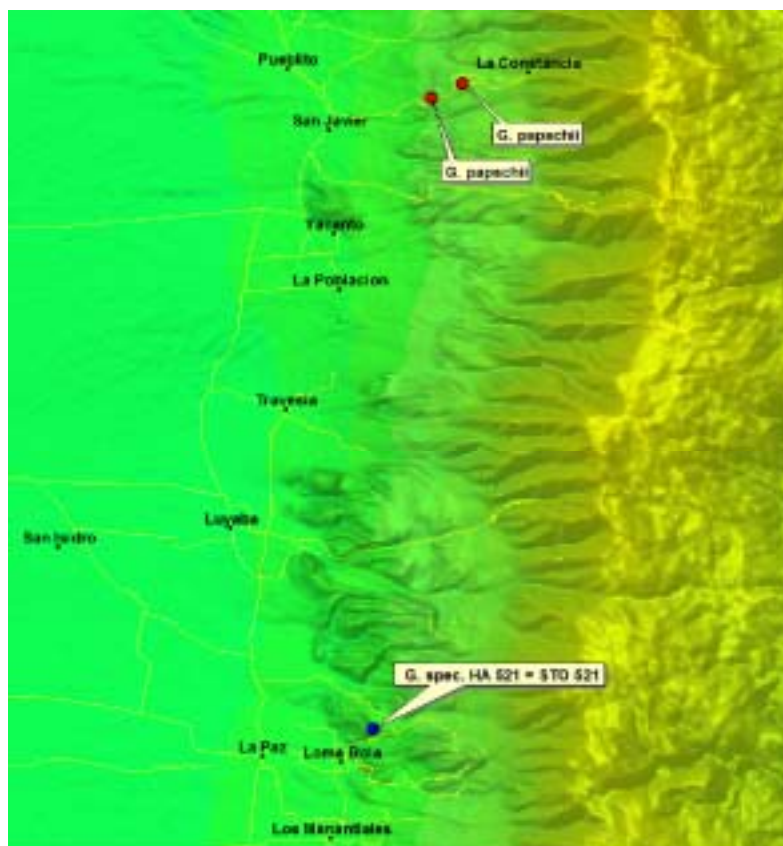


Fig. 1: Map of distribution (map: Mario Wick)

図 1：分布図(Mario Wick 氏による。)

更なる、サボテンは見つかりませんでした。

2本の異なる植物が名前 *G.papschii* の下で、我々のコレクションの中で存在するので、多くのコレクターは、最初の出版以来、いらいらしています。

この理由は、著者が Luyaba、Loma Bola と後で Cortaderas を含む、*G.papschii* の分布と生態に



Fig. 1: *G. spec. STO 521*, body, all photos W. Papsch



Fig. 2: *G. spec. STO 521*, body

写真 1(左),2(右) : *G.spec. STO521* 胴体、すべての写真は W.Papsch.

痕跡に戻り得る、彼のコレクションの植物番号でなければなりません。それで、この数字は、Till のコレクションの登録番号と考えられていなければなりません。

Be517 Luyaba からの植物資料は、集められたことは、無かった。(Berger 個人情報) H.Till 氏の論文の写真は、この発見を文書化します。しかし、調査材料の欠如のために、これらの植物は、さらに評価されることができません。

我々は、フィールド番号 HA521 (フィールド番号 STO 521 と同一) の植物に関して、異なる状況があります。これらの植物は、コレクションの中で非常に一般的です。最初の写真の説明によると、これらの植物は、Loma Bola で集められました。

WP83/111 と HA521 から植物を比較して、お互いに、特徴において著しく異なり、そして同じ



Fig. 3: *G. spec. STO 521*, body

写真 3(左),4(右) : *G.spec. STO521* 胴体



Fig. 4: *G. spec. STO 521*, body

ついて、彼の意見で、配分地区を拡張したということです。そのように、彼はまた、新しく記述された分類群に Berger 氏 (Berger Be 517 Luyaba) と Amerhauser 氏 (HA 521 Loma Bola) によって集められる植物を割り当てました。その上、彼は、記事で HT 2668 を彼の意見に加えました。Hans Till 氏は、この場所を絶対に訪問しなかったため、HT2668 は第三者による、Loma Bola からの発見した物の、



Fig. 5. G. spec. STO521 body



Fig. 6. G. spec. STO521 body

写真 5(上),6(下) : G.spec. STO521 胴体。  
均一な側刺があります。そして、それは 2-3 本が、一組となっています。しばしば、上へ指す、2本のさらなる側刺があります。

刺座の上 1/3 の部分は、刺はありません。側刺に非常に良く似た中刺は、殆ど、いつも、存在します。すべての刺は、明瞭な赤い基部のある角色です。肌は良く見える状態です。G.spec. HA 521 は、高密度に刺が、織り交ぜられています。いろいろな長さ (平均 5mm) の側刺が、最高 12 本あります。中刺は存在しないが、密性した細い刺は、その入り組んだ配列で、毛むくじゃらの印象を与えます。体は、刺で完全におおわれています。G.papschii の花は、春に G.gaponii *Neuhuber* と共に、咲きます。開花期間は 3 月の末に始まって、4 月の中ごろに止まります、そして、このように、それはまだ G.erinaceum *Lambert* の前にあります。しかし、G.spec. HA 521 は、主な開花期間が、7 月から 8 月の初めの、典型的な夏に開花する植物です。2 つの分類群の花の構造の違いも、明らかに分かります。:

種に属さないのは、明確に分かるようになります。それらは、明らかに、分離できる、2 つの分類群を代表します。しかし、最初の学術記載の論文で、著者は、両方の分類群の特徴を混同して、G.papschii として、Loma Bola からの植物の写真を発表しました。これは、我々に、今日 G.papschii についての、間違っただけ的印象となりました。

2 つの分類群の著しい違いを比較すると、特に、体型が、異なることが、明らかになります。しかるに G.papschii (WP83/111) は、最高 7cm の直径、高さ約 4cm で、平坦に成長します。G.spec. (HA 521, Loma Bola) は、年を経るにつれ、約 4-5cm の直径と高さ 12cm 以上になり、短い円筒形状になります。G.papschii には、より広い幅で、明確に 8 : 13 のらせんを形成する 13 本の稜があります。G.spec. HA 521 の体型は、はるかに小さい直径で、最大 17 本の稜を持っています。したがって、稜は、非常に近接しています。また、刺の違いは、非常に注目になります。G.papschii はおよそ 6mm の長さの 6-9 本の



Fig. 7. G. spec. STO521, body with flowers

写真 7 : G.spec. STO521、花を付けた株。



Fig. 8. G. spec. STO521, flowers sections

写真 8 : G.spec. STO521、花断面図。

G.papschii の花は、G.gaponii の花と、驚くほど類似しています。G.spec. HA 521 の花は、G.parvulum (Spegazzini) Spegazzini と類似性を示します。



Fig. 9: G. papschii WP 83-111, body



Fig. 11: G. papschii WP 83-111, body



Fig. 10: G. papschii WP 83-111, body



Fig. 12: G. papschii WP 83-111, body

写真 9(左上),10(左下),11(右上),12 (右下) : G.papschii WP83/111 胴体。



Fig. 14: G. papschii WP 83-111, body with flower



Fig. 15: G. papschii WP 83-111, body with flower

写真 14(左),15 (右) : G.papschii WP83/111 花を付けた株。

**概要 :** Hans Till 氏は、2つの異なる分類群を *G.papschii* の彼の最初の学術記載に混ぜてしまいました。基準標本(Type)としての場所、WP 83/111 (Cerro Champaqui) からの植物の宣誓証書のため、名前 *G.papschii* は、San Javier、あるいは、La Constancia からの植物に適用されることができるだけです。HA 521 = STO 521 は、異なる種で、*G.papschii* から分離して、扱わなければなりません。このように、それは *G.papschii* *H. Till* pro parte とラベルをつけることが、必要です。

**Literatur(文献) :**

Till, H., 2001. *Gymnocalycium papschii*, ein interessanter Neufund von Cerro Champaqui aus der Sierra de Comechingones. In: *Gymnocalycium* 14(3), 405-408



写真 16(上),17(下) : *G.papschii* WP83/111、  
花断面図